

令和3年度 第2回住吉区区政会議 グループディスカッション

テーマ：地域における「つながりづくり」について

住吉区将来ビジョン 2023 では、住吉区の将来像を「つながり・見守り・支え合いを大切にした安全・安心に暮らせる住みよいまち」としています。

令和3年度第2回住吉区地域福祉専門会議では、「社会的つながりが希薄な世帯の支援のあり方について」について議論し、プライバシーの問題や孤立する権利を尊重しながらもつながりづくりをどのように進めていくか、さまざまなアイデアが出されました。（詳細は配付資料⑥をご参照ください。）

そこで、これらのアイデアも踏まえて、地域における「つながりづくり」の具体化、進め方等についてご意見をいただきたいと存じます。いただいたご意見は今後の住吉区政に役立てていきます。

【グループディスカッションについて】

- ◆区政会議委員（21名）を3グループに分けて、同じテーマで自由討議を行う。
 - ・各グループに区役所職員がファシリテーター、書記として入る。
 - Aグループ：区政会議委員（7名）、ファシリテーター（区役所職員）、書記（区役所職員）
 - Bグループ：区政会議委員（7名）、ファシリテーター（区役所職員）、書記（区役所職員）
 - Cグループ：区政会議委員（7名）、ファシリテーター（区役所職員）、書記（区役所職員）
 - ・各グループより発表役を区政会議委員の中から1名決める。（手上げ方式）
- ◆ファシリテーター役が進行し、各委員より順に意見を述べてもらう。一巡後は出された意見に対する意見やその他の意見がないかを聞く。（意見は実現性の有無を問わないものとする。）
- ◆書記役が発言された意見を簡潔に記録する。
- ◆発表役（区政会議委員）が記録された意見より発表する。